

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「家族、大切な人と交流が図れ、地域社会の一員として生活が送れる暮らし」と事業所独自の理念を有しています。	○	今後もより様々な活動を通し、地域に溶け込める様にしていきたいと思います。
2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	職員がいつでも意識できるよう見える場所に理念を掲げ、更に理念達成のために今年度の目標を具現化して提示し、ミーティング時や日常的にも事例の振り返りなどで確認し合い、実践に向けて取り組んでいます。	○	理念の大まかなことは共有できているが、より具体的な実践に向けた取り組みを強化していきたいと思います。
3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	ホーム便りなどを通し、日々の活動、行事、生活、介護の有り方など理解して頂けるよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい			
4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	朝夕の出勤時、退勤時、外出時など近隣の方へご挨拶をし、会話をするようになりました。建物1Fがクリニックなので、近所の方も出入りされ、職員と挨拶を交わす機会もあります。	○	今後も近隣の方と日々ご挨拶を交わし、より親しみが持たれ日常的に交流が持てるようにしていきたいと思います。
5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に加入しています。町内会行事の参加については殆んど出来ていないので、今後の課題です。	○	町内会の運動会や近所の神社のお祭りなど、参加できる機会を作りたいと思います。
6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	運営推進会議において、町内会様から歩道の花植のお誘いがあり、入居者様との参加を希望し、貢献出来るようにしました。	○	昨年の夏祭りは、手稲ブロックの関連法人全体で、各町内会やボランティアの協力のもと盛大に開催することが出来ました。今後、地域の高齢者の皆様と交流が持てるよう老人クラブとの繋がりも検討したいと考えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価をするにあたり、各自意識を理解し外部評価内容を職員で共有し改善に努めています。	○	自己評価・外部評価の結果については、ご家族様に送付し、ご意見を聞き、職員間でも話し合い改善に取り組んでいます。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現況及びホームの活動目標や入居者様の活動、サービス支援の実際などについて報告し、会議メンバー様からの意見を受け止め向上へ活かしています。	○	今後も運営推進会議において意見や助言を頂き、地域密着型ホームとしての役割を担うことができるようサービスやケアの質向上を目指した取り組みをすすめていきたいと思ひます。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	社会福祉協議会等の団体や地域の管理者会議にも参加し交流を図り、包括支援センター・介護保健課・保健福祉課などとも話す機会をつくり、連携に努めています。	○	市町村事業を積極的に取り入れて、専門分野の方と連携し質の向上に努めていきたいと思ひます。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	外部研修等で権利擁護を学習した職員は、職場に於いて伝達講習として他の職員対象に報告会を開き、全職員が同じ意識をもって入居者様にあたれる様にしています。	○	外部研修や法人の勉強会等にも参加できるよう計画をし、職員全員が向上心を持ち、認知症ケアの理解を深めていきたいと思ひます。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	身体的虐待はもちろん、精神的虐待についてもあってはならないと自戒しているところであり、入居者様の対応状況に問題はないのか職員の個人面談で個別指導の機会を設けたりし、気付いた点は取り上げ改善を図っています。	○	関連施設との学習会に参加し虐待防止について学んだり、高齢者虐待防止シンポジウムに管理者が参加する等、職員全員が認識を持ち理解を深めていきたいと思ひます。
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、文書により詳しく説明を行い、ご家族様からの質問にも適切に回答し、安心して頂けるよう、同意のもとで選択し、利用して頂いています。その後に署名と捺印を頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様、ご家族様からの苦情は真摯に受け止め、改善に向けて管理者・職員は問題に対応しています。	○	苦情の受理・処理方法等をフロー化し、一つひとつについて回答をし、開示できるように検討を考えます。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月、入居者様の健康や生活状態・お小遣い残金をお手紙をもって報告しています。又、ご来訪時やお電話などでも報告しています。	○	現状の金銭管理方法で良いのか否かを法令と照合してみる必要があるかと思ひます。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関前に苦情箱を設けています。又、ご来訪時に意見や不満等を聞くようにしています。	○	苦情の回答について明確にすることの他、運営推進会議に於いて意見・不満・苦情などを頂戴し、今後の反映に努めていきたいと思ひます。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日のミーティング時やその都度、職員の意見を聞き話し合っています。又、個人面談も行う機会を設けています。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	行事などの場合は、職員の勤務調整を行い、柔軟な対応が出来るように努めています。	○	今後も状況に応じて勤務体制の変更、時間の変更を行ってきたいと思ひます。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	ホーム長との連携を密に離職者が出る場合は、早期に人員確保に努めてくれています。サービス向上の側面からも同じ志しを持つ職員集団となり過渡期を乗り越えたと思ひます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	経験や年数などにより必要な研修を受け、又、本人の希望によっても研修を認められています。老健施設での学習会にも参加しています。	○	個人面接にて本人に意向を考慮し、個々の経験や目標に合わせて職員研修に参加、受講が出来るようにしていきたいと思います。又、育成型人事考課の構築を予定しております。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	行政や手稲区ネットワーク主催の講演会や地域の管理者会議による研修会に参加し、意見交換や事例検討会なども行っています。	○	同じ地域にグループホームが多いので、もっと職員同士の交流や学習会が開かれるように連携していきたいと思います。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	個々のプライベートを大切に生活環境の情報を得ながら、休みの希望を出来る限り考慮できるよう公平にリフレッシュ出来るようにしています。	○	職員室にお花を飾ったり、ホッと安らげる環境づくりに心掛けていきたいと思います。
22 向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	ホーム長は、管理者がマネジメントや職場環境の調整がしやすいよう情報を密にし、配慮しています。個々の勤務に対する姿勢や努力を考課し、賃金に反映させております。又、理念にそぐわない場合は、指導しております。	○	外部研修の勉強会への参加や職員間での報告会、勉強会を強化しスキルアップを図っていきたいと思います。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居される前の電話相談や本人によるホーム見学をして頂き、ホームの雰囲気を感じて頂いたり、入居前の生活情報を得る目的を兼ねて訪問させてもらい、意向を傾聴する機会を持っております。		
24 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	何度もホーム見学をして頂いたり、何でも話せるよう信頼関係を築ける努力をし、不安を取り除けるよう電話でも相談を受けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の段階では、家族の意向や現在の状態などのお話を伺い、グループホームで対応が可能か否かを見極めるようにしています。又、他のサービスの適応であれば、連携事業所への紹介なども行っています。</p>	○	<p>今後も入居者様の立場に立ったサービス利用の支援を行っていきたいと思います。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人も不安なく納得できるよう、先ず、ホーム見学にて生活空間や雰囲気を感じ取って貰ったり、職員が自宅へ出向き馴染みの関係を持てるようにしています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>共に寄り添い支えあう関係づくりを築ける様にしています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様との関わりを大切にしながら一緒に支えていくんだという事を伝え、ご家族様が一緒に参加して頂く場を増やすようにしています。</p>	○	<p>ご家族様がご来訪された際に、お話しする時間をつくり、利用者様を職員ご家族様と共に支えていく関係づくりを大切にしていきたいと思います。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>ご家族様には入居者様の日々の生活など、いつでも記録を見てもらえるようにしています。入居者様とご家族様の関係を大切に支援しています。</p>	○	<p>ご家族様のご来訪時は、近況報告を行い、ご家族様と良い関係が築けるように努めています。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人が大切にしている関係が途切れないよう、お手紙、お電話など希望を聞きながら途切れないように支援しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様同士が馴染みの関係が出来るよう、場を作ったり話題の提供をし、職員もコミュニケーションを図るように努めています。	○	孤立している方には、職員と一緒にお話しをしたり、スキンシップを図ったり、淋しい思いをしない様に支え合う生活出来る様にしています。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去された入居者様の様子を見に行っている。又、連絡も取りやすい状態にしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしい生活が出来るように希望、意向の把握に努め、日々のミーティング時やケアカンファレンス時に検討しています。	○	一人ひとりのニーズに合った支援を、全職員が同じ方向性で実現に向けていく様に取り組んでいきたいと思えます。
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個別受け持ち制を導入し、センター方式でアセスメントしています。又、ご家族様からの情報を職員間で共有し、把握に努めています。		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の健康状態、表情、言葉などから心身の状態を把握し、一人ひとりの能力に合った生活を提供するように努めています。	○	その人らしい暮らしが継続出来るように努めていきたいと思えます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	カンファレンスを定期的に行い、介護支援専門員の適切な指導の下で、本人がより良い暮らしの為の支援について、職員やご家族・ご本人のニーズを大切に沢山の意見を出してもらい介護計画に反映出来るようにしています。	○	介護支援専門員の指導でより良い介護計画を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>期間に応じモニターリングを行ない、本人の状況に変化が生じた場合は、介護計画の追加を行っています。</p>	○	<p>状態変化に応じた支援が出来るよう介護計画の見直しを行い、現状に即した新たな計画を作成していきたいと思ひます。</p>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>	<p>毎日の介護記録に記載し、日々の問題点や改善点が生じた時には、カンファレンスを行いノートに記載し介護計画の見直しに活かしています。</p>	○	<p>日々の様子を詳しく分かりやすく記録し、それを介護計画書作成に役立てています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>本人の身体状況によって、ご家族様とも相談の上で、施設や病院へ移る事もあります。行事などへの参加により柔軟な生活を支援しています。</p>	○	<p>その人の状態に一番適した生活が送れるよう、希望を確認し、併設事業所等とも連携し、支援をしていきたいと思ひます。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>ボランティアの人によるネイルアートでおしゃれ心を深める支援を行いました。</p>	○	<p>ボランティアの導入を行うことで社会の風を感じ取ってもらいたいと思ひています。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>理容、美容室等に定期的に出張に来てもらい、希望される入居者様におしゃれをして頂き、気分転換をされています。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>運営推進会議などで包括支援センター職員から意見を頂いています。</p>	○	<p>会議などで貴重な意見を参考にしています。又、困難な事柄に遭遇した時は、相談窓口として利用をしたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	身体的にホームで生活する事が困難になった場合などは、ご家族様に事前説明を十分に行い入居者様のダメージや不安を出来る限り最小限に防ぐ事に努めています。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	入居者様の昔、戦後の苦難があって、現在の私達の生活があるんだという敬意、尊敬の心を持ち、入居者様の立場に立った言葉かけや対応を行っていききたいと思います。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	入居者様の目線で「ゆっくり」「優しく」「ゆったり」とした気持ちで働きかけ、本人の意思を尊重した支援を行っています。	○ 入居者様の気持ちを大切に毎日幸せに暮らせる様にしていききたいと思います。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員は入居者様の意思を優先し、その人らしいペース・生活感を大事にしていく様にしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	清潔感のあるおしゃれが出来る様にして頂き、その人らしい髪型に整髪しています。希望された時は好む洋服、アクセサリなど買いに行く事もあります。	○ 一人ひとりの個性を大切にしたおしゃれをして頂ける様にしていききたいと思います。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は出来る限り、一人ひとりの好みを持つ様、食材・味付けに工夫しています。その人に合った無理のかからない役割を提供しています。	○ これからも食事作り、行事のお料理の盛り付けなど、楽しみながら行なえる様な支援を多くしていきたいと思ひます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>飲み物・おやつ等は状況に合わせて楽しんで頂いています。タバコは職員が付き添って所定の場所にて本数制限を楽しんでおります。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、言葉がけなどにより、気持ち良くトイレで排泄してもらえるようにしています。パットを使用中的の方も必ずトイレにて排泄支援をしています。</p>	○ 一人ひとりの排泄パターンを把握し、適切なケアのもとで安心した生活が送れる様にしていきたいと思ひます。
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>入浴日、時間帯は出来る限り入居者様の希望に合わせて気持ちを良くし、落ち着いて入れるように支援しています。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>昼食後の軽い休息やソファー・小上がりでの休息など一人ひとりに合った状況に応じた支援を行っています。</p>	○ 夜間に安眠出来る様に、日中はリズムある生活が出来る様にしていきたいと思ひます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>ラジオ体操・嚙下運動。 食事の準備・後片づけ。自室の清掃。 くつろぎの時間は職員と一緒に座り色々なお話しを入居者様から多くの言葉を引き出しています。</p>	○ 今後もその人らしい出番、役割・楽しみを見つけ、その人らしい能力を引き出していきたいと思ひます。
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金を所持管理できる人は本人が管理しています。 買物時などの精算時に支援しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>買物、美容室などは出来る限り、一人ひとりの希望をかなえる様にしています。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>希望を伺い絵画展を鑑賞する企画を実施しました。ご家族様も一緒に出かけられる参加出来る機会をつくっています。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>希望により手紙の代筆をしたり、電話のやり取りが出来る様にしています。</p>	<p>○</p> <p>今後もご家族様、大切な人との交流が図れる様に支援しています。</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>気軽に訪問が出来る環境づくりをし、ご家族様もゆっくりと過せる事が出来る様に努めています。</p>	<p>○</p> <p>行事の際には、お手紙や電話で連絡をし、少しでも多くの参加をお願いしています。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は無いですが、ミーティング・申し送り・勉強会などで、言葉の拘束について話し合い、拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>	
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内・居室などはすべて鍵はかけていないケアを実践していますが、1階玄関は他施設と共用部分なので鍵をかけています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員の見守りの中、入居者様は何処でも自由に行動が出来るように常に様子を把握し、最新の注意を払って安全に配慮しています。	○	今後もアンテナを張って、毎日細心の注意を払っていききたいと思います。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者様の状態や行動に応じて、物品の配置換えをしたり、保管・管理に努め危険を防止しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	各ユニットに事故防止のマニュアルを設置し対応が出来る様に訓練も行ないました。又、事故が発生した際は、すぐに会議を開き話し合いをし、なぜ起きたのかを振り返り、今後同じ事故が起きないための対策を講じるよう取り組んでいます。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	各ユニットに救急マニュアルを設置し、職員訓練も行いました。全職員が対応出来ているかは分かりません。	○	看護師による指導のもとで全職員が救急法を実践できるようにしたいと思います。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練を行い、マニュアルも各ユニットに設置していますが、地域の人々の協力を得られるかは疑問です。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	一人ひとりに起こり得るリスクについては、十分に職員で話し合い、少しでも抑圧感のない暮らしが出来る様な対応策をご家族様に伝えていきます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	月1回の受診時に主治医から状態の報告・指示を頂いています。又、毎日バイタル測定を行い身体状態の観察をし、毎日の申し送りや記録で個々の状態の把握に努めています。	○	健康面の看護アセスメントを看護師が行ない、介護員も状態の変化・発見に努め、気付いた際には主治医や看護師へ情報提供を行い、早期発見、対応に努めています。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個々の処方箋はいつでも見れるようにファイルに閉じ、服薬の確認を行い理解しています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日の個々の水分摂取量を把握出来ています。又、ハチミツやイーザーファイバーを使用したり、繊維の食物を摂取したり、ラジオ体操・腹部マッサージを施行しています。又、看護師による観察も最低週2回実施されています。	○	水分摂取量が不足な入居者様には個別に水分の重要な説明をしました。ゼリー・果物・飲み物などで工夫した対応をしています。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に口腔ケアを行い、一人ひとりに合わせた見守り、一部介助を行い、口腔内の衛生保持に努めています。	○	歯科受診が必要な方には訪問歯科受診を実施してもらっています。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日食事量、水分量を一人ひとりチェックし、日々の状態に合わせた栄養・水分量のバランスが確保出来るように支援しています。	○	一人ひとりの水分摂取量・食事量を記録し把握しています。
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルは、いつでも活用できるようファイルし、全職員が理解・対応出来るように勉強しています。すぐ対処できるように物品も常備しています。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日食器洗い後は、熱湯に消毒を行っています。冷蔵庫・調理具も洗浄・消毒を行い、食品等は賞味期限や食材のチェックを行い管理に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	明るく広い開放的な玄関に改築されました。防犯のためモニターも設置してあります。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	生活感・季節感を置き物、飾り物、家具などで工夫し、カーテンや網戸・暖簾などを使用し、居心地よく過せる様に工夫しています。	○	室内全体の匂いについても配慮・工夫を行なっていきたいと思います。
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	小上がりや椅子など共用場にはそれぞれお気に入りの場所があり過ごされています。		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅から馴染みの家具や置き物・思い出の物などを持ってこられ、心地よく過ごせるようにしています。	○	ご家族様と相談された、一人ひとりの希望に沿った居室になっています。
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	一人ひとりに合った温度調節(窓の開閉・冷暖房調節)などこまめに行っています。又、トイレなど共有場所については、換気や消臭に気を配っています。	○	冬場は暖房使用により乾燥されている為、細々な洗濯物は自室に干し乾燥調整を行っています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に歩行が出来るようになっていきます。又、一休みが出来る様椅子も置き、安全を確保しています。	○	長い廊下を活用した歩行訓練で身体機能の維持を図っていきたくと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>各居室の入り口には、ご家族様の了解を頂き、表札や写真を目線に合わせ飾り、自立して暮らせるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>意見を聞き入れて工夫しています。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダにプランターを設置して、トマトや枝豆、大根の葉など栽培し、食物の生成や収穫を楽しみ生活出来るようにしています。</p>	<p>○</p> <p>プランターの水やりは、入居者様と職員で一緒に行っています。ベンチも置いて一休み出来る様になっています。</p>

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない	全入居者様への思い、願い暮らし方の意向を育む気持ちはあっても、現実には届いていない。しかし、思いはあるので少しでも多くの入居者様の思いを育む様に努めたい。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1日2回のお茶の時間、食事時間も一緒に食べ会話の場を作り、くつろぎの時間は入居者様と一緒にソファーに座り談話されたり、穏やかに過ごす場面が多いと思います。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	一人ひとりの生活があって、自由に自分らしく生活されています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	お手伝いやレクリエーションなど役割や出番を作る事で、能力を出して頂き、生き生きした表情が見られています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	希望があれば職員対応にて行っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	主治医と看護師との連携体制がとれているので、安心して生活されています。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	日々の状況・要望に応じ適切な支援を行い、入居者様の生活を安心して暮らして頂ける様にしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない	来訪時や電話などでは傾聴し、困っている事や求めている事は遠慮なさらず、何でも話してもらい、より良い関係が継続する様努めています。

サービスの実績に関する項目			
項目		取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	ご家族様や友人・知人の来訪があり、いつでも遊びに来て下さるよう言葉かけをしています。
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない	運営推進会議を通し、グループホーム見学会の開催、町内会運動会への誘いなど、少しずつ地域協力・理解が得られる事が出来たと思います。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	入居者様が充実感や達成感を味わった時の表情を見る・感じる事により、職員も同じ気持ちで生き生きと働いていると思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	居間空間が少し狭く、工夫が必要と思います。サービスについては概ね満足されていると思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	「お世話になっています」「良くしてもらってありがとうございます」など言葉は下さいますが、ご家族様の本音はもっと希望される事が沢山あると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

理念に沿った支援を実践し、日々の生活の中で一人ひとりに合った役割や出番を多く持ってもらう事で、生き生きと暮らして頂き、又、入居者様が孤独感・孤立感を抱えない様に日々明るく、楽しく、優しく、安心した生活が出来る様に努めています。